



2019年9月6日

各 位

大阪市北区大深町3番1号
株式会社 アイ ル
代表取締役社長 岩本 哲夫

(コード番号：3854 東証第一部)

問い合わせ先 取締役 経営管理本部長 戸田泰裕
電話番号 06-6292-1170 (代表)

U R L <https://www.ill.co.jp>

中期経営計画 (2020年7月期～2022年7月期) 策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年度(2022年7月期)を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画 (2020年7月期～2022年7月期) 策定の背景と目的

当社グループは、中堅・中小企業顧客が、ITを有効活用し企業力の強化を図るための提案に、今後でも取り組んでまいります。その為には、全社的な拡販体制の強化と各営業担当者の商談効率及び提案内容の更なる向上が必要と考え、「リアル」と「Web」の融合した付加価値の高い提案を実現し、ストック型のビジネスを中心とした売上高の拡大を目指すことにより、利益率の向上を図ります。また、システム開発における品質及び商品力の向上に合わせ、顧客満足度と生産性の向上を強化することで、安定した利益確保を目標とした中期経営計画を策定しております。

①各ビジネスパートナーとの連携を継続的に強化し、基幹システムとWeb商材を連携させたトータルのソリューション提案を強化し、「リアル」と「Web」両面からの提案を進め、新たな拠点展開も視野に入れた地域密着による営業展開を行ってまいります。

②顧客満足を目的としたシステムの生産効率向上のため、現状のプログラムのモジュール化、カスタマイズのテンプレート化、納品前のプログラムテストの強化、システム開発における受託開発要員の増強等に努めることで、顧客満足度と生産性の向上に取り組んでまいります。

③当社の独自戦略である「CROSS-OVER シナジー」戦略を市場で推進し、当社のサービス・製品を有機的に結合させ、新たに付加価値の高いトータルソリューションパッケージとして市場に提供することで、「中堅・中小企業の企業価値向上」を目指すことにより、当社の高収益体質の確立に取り組んでまいります。

2. 中期経営計画（2020年7月期～2022年7月期）の経営目標

【連結】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年7月期（実績）	10,522	951	972	621
2020年7月期（計画）	11,530	1,200	1,226	796
2021年7月期（計画）	12,330	1,500	1,526	1,000
2022年7月期（計画）	13,200	2,000	2,026	1,338

当社グループが扱う商品バリエーションの充実と各商品力の強化により、受注案件の規模につきまして、年々受注額が大きくなっております。また、連携するパートナー企業数も着実に増加しており、ホームページ等からの引き合いとも合わせ商談効率において向上が見られます。また、既存顧客からのシステム入替需要につきましては、システム業界の中でも高いリピート率を維持しており、今後も堅調に推移するものと思われま。

ただし、今後において外部経済環境の変化等、何らかの原因による景気動向の変化により、企業のソフトウェア投資が大きく縮小した場合には、中期経営計画の見直しが必要となる可能性があります。

以 上